

子育てサポートキャラバン ぴよぴよ



子育てサポートキャラバンぴよぴよ 幼児ふれあい体験

8月7日(木)大岡地区センター1階にて、沼津市千本子育て支援センター主催、大岡地区社会福祉協議会共催のもと、子育てサポートキャラバン「ぴよぴよ」が開催されました。今回は夏休み特別企画で、民生主任児童委員とのコラボ企画「中学生夏休み子育て支援活動・幼児ふれあい体験」が行われました。

ぴよぴよの参加者7組11人の親子と、大岡中学校の生徒7人が参加し、幼児と一緒に遊びながらふれあい体験を楽しみ、準備や片付けも積極的に取り組んでいました。

支援活動参加者のひとり2年生の渡邊推奨さんは、「初めは緊張して遊ぶどころか話しかける事も出来なかったけれど、勇気を出して話しかけてみたらたくさん遊んでくれて嬉しかったです。普段なかなか関わる事のない小さい子たちと過ごしてみても、新しい発見や学びがあり、私にとっても価値のある体験となりました。」と感想文を書いてくれました。

参加者の中には、将来は幼稚園の先生になりたいという生徒もいて、「色んな経験がしてみたかった。子ども達がかわいくて、とても楽しいです。」と話してくれました。

この貴重な体験を今後活かして、役立つものになってくれれば幸いです。

大岡地区 子育て支援 エンゼルサロン・ぴよぴよ

大岡地区社会福祉協議会では、今年度事業計画の一つである「子育て支援の充実を図る」として、子育てサロンをスタートしました。

①大岡地区社協主催の『エンゼルサロン』については幅広い広報活動をし、新規参加者を募り運営していきます。

②大岡中学校生徒との『土曜エンゼルサロン』については、昨年に引き続き10月より開催、生徒には福祉教育の一環として活動することの啓蒙を図り参加者を募ります。

③沼津市千本子育て支援センター主催の『ぴよぴよ』では、市指導員から子育て支援の知識等を習得し、積極的に活動します。

この子育て支援については、就園前のお子さんだけでなく、保護者間の交流をもって子育てについての悩み等話し合える場になってもらえればと考えています。子育てボランティアの方たちと一緒に楽しい時間をすごして下さい。

月	ぴよぴよ	エンゼルサロン	土曜エンゼルサロン
	第1木曜日	第3木曜日	土曜日
10月	2日	16日	25日
11月	6日	20日	29日
12月	4日	11日	20日
1月	—	15日	24日
2月	5日	19日	28日
3月	5日	26日	14日

時間 10:00 ~ 11:00
場所 大岡地区センター 1階和室
お問合せ 055-924-0299

寿サロン 幼稚園児との交流会

9月10日(水)寿サロン会員と第二耕雲寺幼稚園年長園児との交流会が園体育館で開催された。会員17名と園児24名が4班に分かれ、折り紙による「ペンダント」、「かぶと」、「つる」等を作成。園児に教わりながら、会員が手ほどきすることで、なごやかに時間を過ごすことができた。

ボランティアを含め、全員での合唱もあり会員にとっては、孫・ひ孫相当である園児との交流は有意義であったと思う。

耕雲寺関係者のご協力に感謝します。有難うございました。



大岡福祉塾 「人生100年時代 知らないと損する セカンドライフのためのマネーセミナー」

9月6日(土)大岡地区センターにて大岡地区社会福祉協議会・きせがわ地域包括支援センター主催、大岡地区民生委員児童委員協議会共催で沼津信用金庫営業統括部ソリューション営業推進課菊地祐奈氏を講師に迎え講座が行われ50人が参加した。

人生が100歳まで続くことを前提としたライフプランの必要性を訴え、社会のあり方や個人の働き方、学び方、資産形成など、あらゆる側面に変化が求められることを示唆し、教育の無償化や高齢者の就労支援など、制度改革が進められているとの説明があった。



第29回沼津市社会福祉大会 地域が支える 地域を支える

9月3日(水)サンウエルめまづ4階多目的ホールにて沼津市社会福祉協議会主催による記念講演が開催されました。

講師に災害ボランティアネットワーク理事長の李仁鉄氏、パネリストに千代幸嗣氏・玉木優吾氏を迎え「災害時の助け合いの仕組み」についてディスカッションを行いました。

ボランティア活動の中で支援を拒む人に多く出会うそうです。見ず知らずの人の訪問に対しての被災者心理は、自分の事は自分でしなくては、自分より大変な人がいるのに申し訳ない・家の中を見られたくない・不信感・不安感などで、心を閉めてもらえるまで時間がかかるとのこと。

解決のためには、自治会の方や地域の民生委員など、顔なじみの方と一緒に訪問することが重要とのこと。いつ災害が起こるか分かりません。福祉人材の発掘・育成に努め、人と福祉をつなげ、地域の福祉力を育み、ともにつながり、ともに支え合う元気なまちづくりをめざして欲しいとのメッセージをいただきました。



フレイルチェック会 沼平町

9月11日(木)沼平町自治会館についてフレイルチェック会が開催されました。フレイルサポーターの土肥さんからは「フレイルとは虚弱・老衰を意味します。介護状態にならないためにもフレイルの兆候に早く気付くことがとても重要です」と話がありました。

フレイルチェックは、筋肉量を測ったり、現在の生活の状態を把握し改善方法を検討したり、お口の中の状態(滑舌など)をチェックし、食欲低下の予防対策をすることができます。

普段から「栄養」「運動」「社会参加」を心掛けフレイルを予防しましょう。



フレイル交流会

8月6日(木)サンウエルぬまづ4階多目的ホールにて、沼津市長寿福祉課高齢者支援係主催による交流会が開催され、北部圏域のフレイルサポーターが集まった。

沼津市はこれからの長寿社会にふさわしい高齢者保健対策の一環としてフレイル対策事業に取り組み、地域包括支援センターごとに活動をしている。

現在フレイルサポーターは200名を超え、32か所でチェック会を開催していると報告があった。

後半のグループワークでは、サポーターを増やすための活動や、チェック方法の見直しなど、活動する中で感じている意見を交換し合った。

大岡地区でもフレイル予防活動を推奨していますので未開催の自治会には是非検討をお願いします。



大岡茶屋 開催しました

9月25日(木)きせがわ地域包括支援センター主催による第三回大岡茶屋が開催されました。今回は30代から80代までの6人の方が訪れ、総勢12人でお茶やお菓子をいただきながら、現在の近況や悩み事を相談し90分間の楽しい時間を過ごしました。

大岡茶屋は大岡地区センター1階和室で奇数月の第4木曜日13時30分から15時の間で開催されています。入退室は自由で参加費は無料です。どなたでも参加することができ、家族介護や認知症の悩みも相談できる場所です。

次回は11月27日(木)に開催します。お茶菓子のご用意もありますので是非お立ち寄りください。



全自動血圧計の紹介

2018年10月14日大岡地区社会福祉協議会30周年記念式典が行われ記念として全自動血圧計が寄贈されました。大岡地区センター1階和室



普段話せない自身の介護の現状や、悩みを語り合い、お互いの苦労話に共感し合った。

また、経験者からは、介護をしていた時の心情や、苦労話を聞き、小規模多機能ホームふれあい黄瀬川管理者からのアドバイスも聞くことができた。今後も継続して交流会を計画しています。

第1回 家族介護者交流会

8月28日(金)下石田公会堂にて、きせがわ地域包括支援センター主催・チームオレンジ大岡共催の家族介護者交流会が開催され現役介護者2名と、介護経験者2名が参加した。



入口東側に設置されています。使用方法をご確認の上ご自由にお使いください。

令和7年度 沼津市総合防災訓練

防災訓練の意義は1【災害時の正しい行動の習得】身を守るための低い姿勢での避難や、非常口・避難所の確認等、具体的な手順や行動を繰り返して練習し、知識を確実にして、災害時の反射的な行動を促す。2【防災意識の向上】災害は予測不能で、訓練で、災害の現状や原因、被害を最小限にする方法への理解を深める。3【地域・組織の連携強化】地域住民や学校、職場などの組織内で連携し、協力体制を築く。訓練で、互いの役割や避難所、避難経路を確認し、組織の対策見直し・改善を促す。

沼平町・駅前町(大岡中)防災訓練

沼平町・駅前町の参加者は大岡中体育館に集まり、避難者カードを書き、ステージ前に座り、防災クイズに挑戦した。また、中学生が災害用備蓄食料の食レポを行った。



▲災害用備蓄食料の食レポ(大中生)



▲受付(大中生)

木瀬川・平和郷・下石田・日吉・大岡団地(大岡南小校区)防災訓練

【参加者】大岡中学校3年生、各自治会役員他【参加自治会】木瀬川、平和郷、下石田、日吉、大岡団地【実施方法】各自治会の避難所受付終了後、4グループに分かれ、体験・終了

明を受けた。学校には生徒の飲む飲料水しか保管されていない。一般人は防火用水(マンホール)に備蓄されている40トンの水しかなくそれを浄化して使うしかないのである。
【防災資機材・整備の点検重要】消火器やAEDの使い方、避難場所、避難経路などを実際に確認することで、防災資機材の点検や整備の不備を発見する機会にもなる。



▲水質検査



▲マンホール・可搬ポンプ



▲大岡南小グラウンド



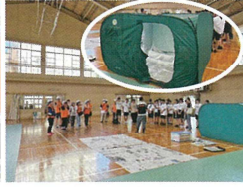
▲大岡団地自治会



▲きれいになった水



▲緊急時浄水装置



▲大岡南小体育館



▲下石田自治会...下石田公会堂にて中学1・2年を中心に防災倉庫の見学会

中石田・富士町・上石田(大岡小校区)防災訓練

各組の避難場所での安全確認・点呼後、大岡小グラウンドに移動して自治会全体が集合。そして、防災本部に組集計表・中学生参加表を提出。自治会長の解散指示後、組長・防災委員・中学3年生は大岡地区センターへ移動して、【避難所模擬訓練】を行った。まずは任意に避難所運営スタッフを配役した後、避難所の仕組みを説明。そして、参加者は避難所運営映像を視聴し、その後、避難所運営スタッフの意見を聞いた。意見内容は避難所のトイレの正しい使い方について・避難所の女子更衣室の在り方などであった。続いて、中学生によるトイレテント組立と携帯トイレの実演。最後に、役員から避難所模擬訓練のまとめ・終わりの挨拶で避難訓練は無事終了となった。



▲中学3年生によるトイレテント組立・携帯トイレの実演



▲大岡小グラウンドに移動して防災訓練へ集計表を提出



▲各組の避難場所での安全確認・点呼



▲大岡地区センターにて受付

大岡団地夏祭り

令和7年8月16日(土)、大岡団地南公園にて『大岡団地夏祭り』が行われました。

不安定な天候により小学生の御神輿が中止になったり、一部屋内に移動しての開催となりましたが、カラオケ・ハワイアンバンド演奏・盆踊りなど、子供から大人まで楽しい時間を過ごしました。



2025秋の全国交通安全運動
 ～安全をつなげて広げて事故ゼロへ～

9月21日～9月30日（10日間）運

動の目的：安全思想の普及を図り、交通ルール遵守と正しい交通マナーの実践を習慣化することで、交通事故の防止の徹底につながります。

①子供と高齢者をはじめとする歩行者の安全確保：歩行者の方々は運転者から認識されやすい服装またはグッズの装着をしてください。②夕暮れ時と夜間の交通事故防止および飲酒運転の根絶：運転者はスマホを使用しながらの運転、飲酒運転は絶対にやめ、早めのライト点灯を心がけてください。③自転車の交通ルールの厳守徹底、歩行者や自転車の反射材用品の着用推進と安全な横断方法の実践：自転車に乗る方々は交通ルールを守りヘルメットを着用し、逆走はやめましょう。ひとりひとりの少しの意識の持ちよう、起こさなくてはならない事故はたくさんあります。乗り物は簡単に人を傷つけてしまうものです。自分は大丈夫と思わず、安全な運転をしていただきたいと思います。また、朝は交通量が多いので、通学路では一列に並び登校し、交通事故にあわないように気を付けて登校しましょう。



紙の、えほん、駒形克己展(遺作展)

【紙の、えほん、駒形克己展】が令和7年8月9日から9月28日まで沼津市庄司美術館(モニュキュゼ沼津)で開催されました。美術館での開催期間中には幼い子から年配者まで、多くの来館者があったそうです。その半数は市外の方で、遠くはフランスや京都など、駒形氏の作品ファンが幅広いことを物語っています。

昨年には、同窓生の有志による遺作展が沼津市立図書館で開催され、造本作家としての駒形氏の絵本が展示されました。幼い子が絵本を手に取って楽しそうに見ている様子があるこちらで見られました。

今回の遺作展はデザイナーである駒形氏の作品も展示され『オフコース・安全地帯』のレコードジャケットや、ハンディキャップに向き合った触察絵本や手話絵本なども見る事ができました。

駒形氏は高校卒業まで大岡で過ごし、大岡小・大岡中での体験やその頃の人間関係が駒形氏の作品や制作に影響を与えているようです。

駒形氏は昨年3月末に亡くなられました。そして今、娘の駒形あいさんが父親の遺志を継いで活動されています。駒形氏が続けていた『コマガタメソッドワークショップ』が娘のあいさんの手で8月24日、沼津市民文化センターで行われました。老若男女が参加し、楽しい声が会場に満ち、皆さんはそれぞれ作品を持ち帰っていました。



～遊び心あふれる造本デザインの世界を沼津で体感！～

駒形克己 造本作家・デザイナー/1953-2024

沼津市大岡生まれ。日本デザインセンターを経て、渡米。ニューヨークCBS本社でNBA招待状デザイン、シェクターグループでコココーラ・タイエットのパッケージデザインなどを手掛け、帰国。オフコースや安全地帯のレコードジャケット、コムデギャルソンやズッカの招待状・ロゴデザインなどを手掛ける。子どもの誕生をきっかけに本づくりをスタートし、著書がニューヨーク近代美術館MoMAミュージアムショップで発売され、その活動を世界へとひろげる。2022年には、エルメスから自身がデザインした商品が発売。ニューヨークADC銀賞、イタリア・ポローニャRAGAZZI賞、2006年グッドデザイン・ユニバーサルデザイン大賞（九州大学病院小児医療センターの環境デザイン）、2007年グッドデザイン賞（つみ木の商品）他、受賞多数。

**令和7年度 第1回地域ケア圏
域会議。パネルディスカッション
〜地区におけるフレイル予防活動の継続について〜**

【日時】 8月21日(木)13時30分〜15時30分【主催】 きせがわ地域包括支援センター【司会進行】高崎センター長【総括】 沼津市社会福祉協議会井上コーディネーター【参加者】 連合自治会副会長、民生委員児童委員協議会、沼津市社会福祉協議会、大岡地区社協、各地域訪問看護師【各関係者発表】 大岡団地自治会長、地区社協企画委員長、木瀬川(居場所きせつ家)、土肥氏(中石田)、福祉部長、きせがわ病院リハビリテーション科

初めに高崎センター長より、今日までの経過の説明がありました。平成18年度より地域介護予防事業委託を開始、大岡福祉塾・各自治会出前講座、勉強会等開始。令和5年・6年度は、沼津市長寿福祉課主導のフレイルサポーター養成講座・フレイルチェックを開始し、並行して地域介護予防教室業務開始。令和7年度より、きせがわ地域包括支援センター主導へ移行との説明があり、高崎センター長からの質問に各関係者がそれぞれの立場によっての問題点、取組など経緯を説明。

問題点として、活動場所や活動内容の地域差、サポーター自身の専門知識の経験不足や活動の持続性や担い手の確保が挙げられました。フレイルサポーターは地域住民のボランティアであり、沼津市地域によって活動内容や研修レベルが異なる場合があると思われる。担い手の確保

と活動の継続性が問題として挙げられ、高齢化や担い手不足は共通の課題です。活動への参加を促進し、活動を継続できるように、活動の評価とフィードバックの仕組みを設けることが必要で、フレイルサポーターの活動がフレイル予防や健康寿命の延伸に、どの程度貢献しているかの評価が難しいところがあります。客観的な評価が不足していると、改善や支援の方向性を見いだすことが難しくなります。

フレイルチェックの実施や啓発が主な活動であり、専門的な医療や介護が必要なフレイルケースへの対応は、サポーターだけでは限界があり、きせがわ地域包括支援センターや医療機関、介護事業者など、連携が必要とす。

また、今回の地域ケア圏域で一番指摘されるのは高齢化に伴い担い手の不足の問題で、大岡地区各団体の協力が必要です。大岡地区でのフレイルチェックは中石田・下石田で2回(半年1回)実施。大岡団地、沼平町も継続実施していきます。今後、各自治会で実施していきますので、ご協力よろしく願います。



▲パネルディスカッション風景



▲きせがわ包括支援センターによる長経過報告

**令和7年 大岡地区社協・
環境美化部の合同作業
〜花壇・倉庫周辺・歩道〜**

【日時】 8月23日(土)午前7時〜
【場所】 大岡地区センター周辺
【内容】 花壇・樹木剪定
【参加者】 大岡地区社協・環境美化部 部計20名

処暑は、二十四節気の一つで、毎年8月23日から9月6日頃までの期間を指します。この時期は、暑さが落ち着き、朝晩は涼しく感じられるようになる頃ですが、今年は暑さがおさまらず、熱中症にならないように考慮し、水分補給をしながら、朝早くから作業を始めました。気温が上昇する中、汗を拭きながら参加者の皆さんは一生懸命に作業を行いました。まだ、草が残っていますが、残りは環境美化部が9月に草取り作業を行う予定です。



▲花壇での作業の様子



▲大岡地区社協の皆さん



▲こんなにきれいになりました！



▲環境美化部の皆さん

日吉神社祭典 and 日吉秋祭り

〔令和7年9月23日(月)〕
日吉自治会では日吉神社祭典と日吉秋祭りを行いました。午前中には子ども神輿と踊りが晴天のもと行われていました。昨年は雨のため参加者が少なかつたのですが今年は天候に恵まれ、沢山の老若男女の方々が参加をし、日吉の町中に賑わいが戻りました。この夕方からは売店やピョンゴ大会が行われて、一年で一番、日吉が盛り上がる一日となりました。



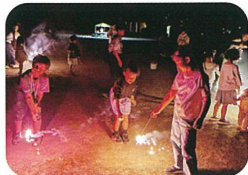
川柳コーナー (匿名希望)
☆自画像に 描く度に 男前
☆金庫買い、その鍵入れる 金庫買う
短歌コーナー (作者 やなはる令)
☆米五キ口 肩に担いで 路(みち)を行く
男の傍えに ほほえむ妻か

日吉自治会手持花火大会

令和7年9月21日(日)、大岡南小グラウンドで毎年恒例の日吉手持ち花火大会を行いました。当初は20日(土)の予定でしたが雨のため、翌日に延期をしましたが50名以上の親子が参加をし、秋の夜長を楽しむことができました。最後にはナイアガラ花火を披露し大変盛り上がりました。



▲エンディングのナイアガラ花火



百寿祝 100歳 杉山信親さん



末永く
お元気で
お過ごしください。

下石田ラジオ体操

8月21日から27日の小中夏休み最後の一週間、下石田自治会では公会堂でラジオ体操を開催しました。ラジオに合わせて体操して、参加者には帰りにヤクルトを配られて、皆勤賞の高校生以下にはかなり豪華なご褒美が用意されてました。



大岡中 吹奏楽コンクール東部大会

8月5日、富士のロゼシアターで開催された令和7年度吹奏楽コンクール東部大会に大岡中吹奏楽部が参加しました。結果は銅賞で県大会への出場とはなりませんでしたが、顧問の先生の指揮も堂々としてかっこよく、演奏も練習の成果を感じるもので、見に行った保護者たちはその成長した姿に感動してきたとのこと。大岡中の桔梗祭や夏祭りなどでも地域を盛り上げてくれていますが、またこの経験も活かしこれからも地域の皆さんに感動を与え続けて欲しいです。部員の皆さん、お疲れ様でした。



大岡中 奉仕作業

9月19日から20日の2日間で大岡中学のグラウンドの草むしりを行いました。目的は10月9日に行われる桔梗祭体育の部を安全に行うためです。生徒、先生、保護者多くの方が参加をしてくださり、大変綺麗になりました。



大岡中PTA バザー

9月20日、大岡中学の制服などを集めたバザーが行われました。昨年は体育館で行われましたが今年は新校舎建て替え工事の影響もあり一階特別室で行いました。来年中学1年生になる親子が制服やジャージなどをバザー価格で購入するできるため大変盛況でした。



大岡小・大岡南小 夏休み学習教室

7月24日、25日、4年生～6年生を対象に「夏休み学習教室」が開催されました。

この学習教室にはゲストティーチャーとして両校の卒業生である大岡中生が学習のサポートをしてくれました。

大岡中生は優しく教えてくれたり、励ましてくれました。そのお陰で子どもたちは最後まで集中して取り組むことができました。



日吉子ども会 万博ボランティア

令和7年8月20日(水)日吉子ども会では、万博会場に行けないお年寄りの為に、実際の会場映像とバーチャル万博アプリを使って2025年の万博会場の体験をしてみようボランティア活動を行いました。当日は小中学生と大学生合計13名が参加をし、1970年の大阪万博の当時の映像や新聞を見ながらおじいちゃん、おばあちゃんから想い出を聞いたりして交流を深めました。途中には、万博グッズを行ったり、アバターを使いイタリヤのパピオンに入り込んで没入体験をおこないました。



東海大会優勝

三島市に本拠を置く錦田ユナイテッドバレーボールクラブが東海バレーボール連盟小学生大会男子の部で優勝しました。同クラブには大岡小5年生の荒巻翔大さんと吉川直人さんが通っており、9月8日にキャプテンの土屋碧翔さん(函南東小6年)をはじめ7人の選手が剛力英樹監督と共に頼重秀一市長を訪ね、優勝を報告してきました。

6月に開催された県大会で準優勝し、東海大会への出場が決まりました。東海大会は8月2日、愛知県江南市にあるKTXアリーナで開催され、白熱した3試合の末優勝を勝ち取りました。5年生の2人のさらなる活躍を願っています。



全国JOCジュニアオリンピック カップ夏季水泳競技大会

8月22日～26日、東京都江東区にあるアクアティクスセンターで第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会が開催され、大岡小5年生の安藤紗莉さんは4種目、大岡南小5年生の細貝弥央さんは1種目に出場しました。

安藤さんは、10歳以下50mバタフライ・200m個人メドレーでB決勝進出。結果、どちらも全国第14位という見事な成績を収めました。

また、24日には静岡県小学生水泳競技大会に出場し、200m個人メドレーで第1位。それにあたり11月に行われる第18回東海選手権水泳競技大会への出場権を獲得しました。

安藤さんは「JOCで大きな舞台で泳げたことが嬉しかった。東海選手権は初めての出場だけ自分の力を出し切りたい」と東海大会への意気込みを表していました。



発行／大岡コミュニティ推進委員会 編集／広報部
発行責任者／上田素行
問合せ／大岡地区センター・事務局 沼津市大岡2357-1 TEL 055-924-0299
発行部数／8,300部
大好き大岡 URL <http://www.e-ohoka.com/>